

令和6年度

現場の技術・技能伝承支援研修

受講者募集

座学と実践を通して
企業の中核人材
を育成します。

募集定員 16名 (先着)

ねらい

- 現場において、効率的に技能伝承を進めることで、従業員の職場定着を支援します。
- 監督者としての資質や指導力を強化し、現場の技術・技能の可視化や人材育成方法、専門知識などを習得できる延べ18日間の総合講座です。
- 全カリキュラムを有機的に結び付け、現場の監督者にふさわしい知識・技能・態度を身に付けます。

特

- 受講者の所属企業の製造現場を教室とした実践的な研修です。
※**貴社の製造現場での実践研修**にご協力ください。
- 業務の見える化（マニュアル化、デジタル化）により、企業・職場の課題解決、生産性向上などを支援します。



徴

1. より品質・生産性の高い技術・技能にブラッシュアップすると共に、次世代への技術・技能の伝承を図る為には、『暗黙知』を『形式知』にすることが重要です。
※暗黙知：個人の経験や勘に基づく知識 ※形式知：文章や図表、数式で説明できる知識
このプロセスを、座学と実践を通して、“行動できる”まで修得するように進めます。
2. 受講者の“気づき”を大切に、職場の問題・課題に自ら積極的に取り組む現場リーダーを育成します。
3. 県内企業での指導実績豊富な講師が、受講者に寄り添った活動支援を実施します。また、講座終了後のフォロー支援も可能です。

概

1. 既存の価値観や枠組みを根底から覆すリーダーの育成（4日間）
 - ・変革の行動を起こすための「思い込み」と「他責」からの脱却
 - ・「歩行ラリー」という屋外競技を通して、3現で事実をみる、チームワークの大切さを体得するとともに、リーダーシップ発揮のポイントを修得する。
 2. 「職場の変革」（仕事の流れを変える）に必要な手法の習得（5日間）
 - ・『暗黙知』を『形式知』化し、品質・生産性を向上させる改善プロセスに必要な考え方・手法を演習を交えて学ぶ。
(TQM、TPM、TPSの各種手法、作業の標準化と作業要領書への落とし込み)
 3. 異業種企業での「職場・企業の変革」の実践（7日間）
 - ・テーマ選定、現状把握、現状分析（問題点の顕在化）、改善策の検討、活動のまとめ
 4. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上（2日間）
 - ・これまで学んだことを応用して技術・技能伝承の自社での対応、DX推進への対応を学ぶ。
 - ・最後に、活動の成果発表と今後の活動計画、決意表明を実施する。
- ◆開催日：令和6年8月6日～令和7年2月21日（18日間）



要

対象

- ・将来の管理者を目指す方
- ・現場の管理・監督者として活躍を期待されている方
- ・製造現場の管理・監督者に求められる能力を総合的に習得する必要のある方、又はその候補者で在籍企業から推薦のある方

＜運営団体 一般社団法人富山県経営者協会＞